

30歳になったら静岡県!

若者の夢を叶える環境づくり

首都圏に人口が集中する一方、地方では人口流出が問題になっている。

「ポスト東京時代の理想郷づくり」を掲げる静岡県は、

「若者の夢を叶える環境づくり」を今年度から始めた。その取り組みとは?

包容力のある社会の構築

人口流出に歯止めをかけるために地元の雇用を促進する試みが全国各地で行われている。そうした中、若者の雇用を拡大し、活気ある地域をつくる上で参考にするべき人物がいる。トヨタグループの礎を築いた豊田佐吉の生涯だ。1867年、浜名湖の西岸に位置する山口村(現湖西市)に生まれた佐吉は、大工を生業とする実家を何度も飛び出し、その都度、国内外の先端技術に触れては地元へ戻り、自動織機の発明を繰り返した。後年、佐吉は世界的な実業家となるが、事業で守勢に入った仲間を生家に

招き、「障子を開けてみよ、外は広いぞ」と激励したという。この教えは、内向きになりがちな地域づくりへの提言と言えるだろう。外へ出て行く若者を闇雲に引き留めることは、その人の可能性の芽を摘み、ひいては地域の活性化を妨げることにもなりかねない。

本県は今年から「30歳になったら静岡県!」をキャッチフレーズに、若者に県内就職を勧める取り組みを始めた。新卒者だけでなく、県外や海外で経験を積んだ若者も対象に、静岡県での人生の再挑戦を応援する環境づくりだ。それは若者を優しく送り出す一方、戻って来る者

を温かく迎え入れる包容力のある社会の構築でもある。

夢が叶う拠点づくり

30歳前後(25~34歳)は、仕事に限らず、結婚、出産、子育てなど、人生の節目となる機会が多い。失敗や挫折を経験した若者が再挑戦を始めるタイミングも30歳前後であることが少なくない。

県は、今年2月にSNSを開設した。フォロワー数は9月時点で目標の2倍以上となる5000を超え、首都圏の静岡県出身者を中心に一定のコミュニティを形成し、情報発信力を持つ。また、交流会なども企画し、夢を実現する選択肢として

「本県が候補になり得ることを呼びかけている。」

具体的なU・イーターンの支援は、平成26年に東京・目黒に開設した「静岡U・イーターン就職サポートセンター」や、平成27年に同有楽町に設置した「静岡県移住相談センター」を通じて行っている。両センターの連携によって仕事と暮らしを二元的に支援する仕組みも整い始めた。受け入れ側としては、経済団体、金融機関、就職支援機関、行政などで「30歳になったら静岡県!」応援協議会を結成し、U・イーターン就職、中途採用の促進へ向けて始動している。

本県が「ドリームズ・カム・トゥルー・イン・ジャパング」の拠点になることを目指した取り組みが進められている。U・イーターン就職者を採用したパーパス(株)の担当者は「新しい知識・経験を持った方が入社することは、会社の多様性にもつながる」「U・イーターン就職を考えている人は、やりたいこと

があれば、入社後の教育など企業側がフォローするので、新しいことにもチャレンジしてほしい」と語っている。

転職希望者に夢と安心を

(株)リクルートキャリアの調査では、この数年間で転職希望者の意識が大きく変わり、「やりがい」「働き方」「自身の成長を重視する傾向」になっている。そこで県は、ものづくりや自然環境に恵まれた本県が、一旦は県外に出た若者が、人生の再挑戦を行う上で好適地であることを発信していくこととし、今年9月に特設サイト「30歳になったら静岡県!」を開設した。

同サイトでは、実際にU・イーターン就職した人たちの声や暮らしを動画で公開している。転職や移住に関する不安や期待に応える内容は、将来の暮らしをイメージしやすく、転職希望者に夢と安心を与えている。また、「30歳になったら静岡県!」のシンボルとして静岡県

30歳になったら静岡県!



ロゴマークには「生まれた川に戻ってくる魚のように、30歳前後で一生の仕事や生涯のパートナーを見つけ、静岡県に帰って活躍してほしい」というメッセージを込めている。



「30歳になったら静岡県!」特設サイト



U・イーターン就職経験者のインタビュー

英語: Live Your Dreams in Shizuoka

中国語: 静岡, 让梦想更精彩 / 静岡, 讓夢想更精彩

韓国語: 내가 꿈꾸는 대로 시즈오카현!

世界の若者に向けて「静岡県で夢を実現しよう」と呼びかける。



静岡U・イーターン就職サポートセンターの「静岡県の転職事情」セミナー。



「移住交流情報ガーデン」での就職相談。静岡県ブースへの来場者は多い。



パーパス(株)総務人事課の佐藤英之さん。近年、中途採用にも積極的に取り組んでいる。



「30歳になったら静岡県!」特設サイトはこちら

<https://www.koyou.pref.shizuoka.jp/30shizuoka>